【樹木の部屋】

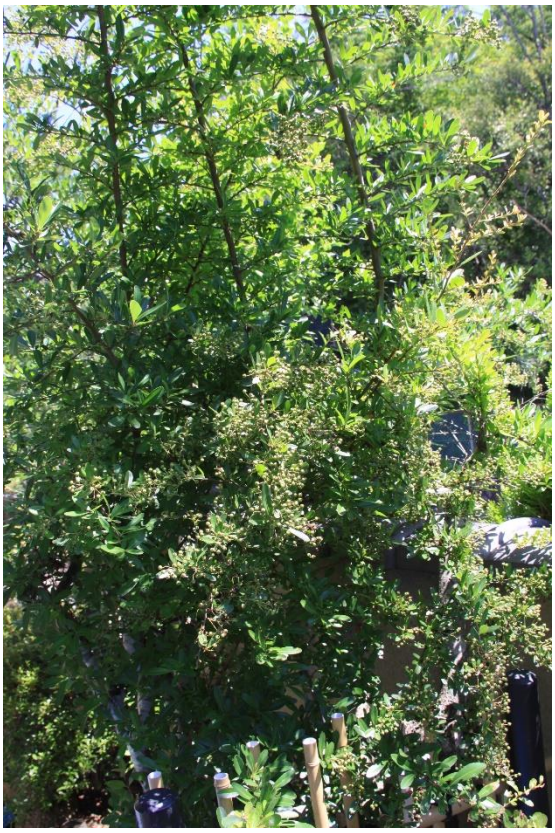
ピラカンサ（バラ科トキワサンザシ属　Pyracantha ）

和名：トキワサンザシ(常盤山査子)、タチバナモドキ(橘擬)

別名：ピラカンサス　　英名：Firethorn

バラ目　常緑低木　　原産地：中国、ヨーロッパ

花言葉：美しさはあなたの魅力、愛嬌　　花色：　白



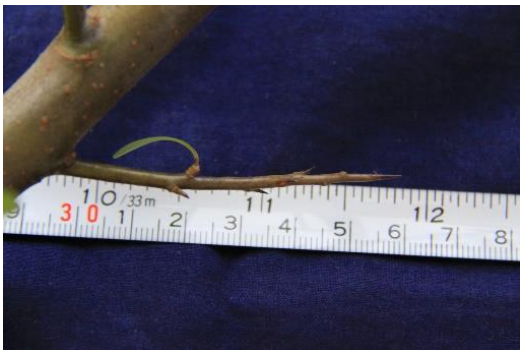
← 写真-１ピラカンサ
撮影日：2020 年 6 月 23 日
撮影場所：奈良市郊外にて
撮影者：M　さん

↘ 写真-２　ピラカンサの葉
撮影日：2020 年 6 月 23 日
撮影場所：奈良市郊外にて
撮影者：M　さん

← 写真-３　ピラカンサの葉表(左)、葉裏(右)
撮影日：2020 年 6 月 23 日
採取場所：奈良市郊外にて
撮影者：M　さん

↑↗ 写真-５、６　ピラカンサの
老幹肌(左)と若幹肌(右)
撮影日：2020 年 6 月 23 日
撮影場所：奈良市郊外にて
撮影者：M　さん

↘ 写真-４　ピラカンサの棘
撮影日：2020 年 6 月 23 日
撮影場所：奈良市郊外にて
撮影者：M　さん



→　写真-７　ピラカンサの果実
撮影日：2020 年 6 月 23 日
撮影場所：奈良市郊外にて
撮影者：M　さん

ピラカンサにはいくつか種類がありますが、単に「ピラカンサ」といった場合、赤い果実のトキワサンザシやヒマラヤトキワサンザシ、黄色い果実のタチバナモドキ、それらの改良品種を指すことが多いそうです。株は低木なのでそれほど背丈は高くなりませんが、成長が非常に早く徒長枝がよく出るので毎年管理が必要になります。枝には鋭いトゲがあるので、侵入防止用の生け垣などに用いられることもあるそうです。

葉は倒披針形または狭倒卵形で 5～7㎜ の柄を持ち互生します。葉先は広い鋭頭もしくは円形、基部は細いくさび形で縁には低く荒い鋸歯があります。表面は濃緑色、裏面は淡緑色で両面とも無毛です。また、短枝には枝の付け根にかたまってつき、枝先は刺になります。花期は 5～6 月で、枝先に散房状に白い小さな 5 弁花を、多数付けます。

剪定は６月以降で、花後の６月以降に花芽をつけなかった徒長枝を剪定して実がよく見えるようにします。また、秋以降に徒長した枝には花をつけないので切り詰めます。花芽は充実した短い枝につきます。花芽がついた枝の区別が分からなければ、花芽が分かりやすくなる３月以降の剪定でも良いそうです。

＜ちょっと一言＞

＊トキワサンザシ（学名：Pyracantha coccinea）
＊タチバナモドキ（学名：Pyracantha angustifolia）
　別名：ホソバノトキワサンザシ（細葉常盤山査子）